

平成25年2月度 財団法人倉敷中央病院治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時 : 平成25年2月18日(月) 16時30分 ~ 17時35分
 開催場所 : 院内第5会議室
 出席者 : 後藤剛、松下睦、上田恭典、松岡孝、二宮伸介、佐野薫、清輔良江
 高柳和伸、徳田衡紀、武永省二(非専門委員)、新居伸治(非専門委員)、
 梶谷浩一(外部委員)、奥野健次(外部委員)

議題	審議結果を含む議論の概要(迅速審査の報告含む)
[セルジーン株式会社の依頼によるレナリドミドの第II相試験] (第569号) 一般名:レナリドミド 治験依頼者:セルジーン株式会社 開発の相:第II相 対象疾患:-	これまでに得られている臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。 審議結果:承認
[ブリistol・マイヤーズ株式会社の依頼による非小細胞肺癌患者を対象としたIpilimumabの第3相試験](第570号) 一般名:ipilimumab 治験依頼者:ブリistol・マイヤーズ株式会社 開発の相:第III相 対象疾患:非小細胞肺癌	これまでに得られている臨床試験成績、副作用等に基づき、治験実施の妥当性について審議した。 審議結果:修正の上で承認(治験参加カードを修正する)
[ブリistol・マイヤーズ株式会社の依頼による進展型小細胞肺癌を対象としたIpilimumabの第3相試験](第571号) 一般名:ipilimumab 治験依頼者:ブリistol・マイヤーズ株式会社 開発の相:第III相 対象疾患:進展型小細胞肺癌	これまでに得られている臨床試験成績、副作用等に基づき、治験実施の妥当性について審議した。 審議結果:修正の上で承認(治験参加カードを修正する)
[びまん性大細胞型B細胞リンパ腫患者を対象としたLY317615による寛解維持療法の国際共同無作為化プラセボ対照二重盲検比較第III相試験](第487号) 一般名:Enzastaurin 治験依頼者:日本イーライリリー株式会社 開発の相:第III相 対象疾患:びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	・当院で発生した重篤な副作用について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・当該治験薬で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・説明・同意文書の変更について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
[TSB-002Cの発作性心房細動に対する検証的試験-抗不整脈薬治療を対照とした多施設共同無作為化比較試験-](第558号) 一般名:アブレーション向け循環器用カテーテル、経皮心筋焼灼術用電気手術ユニット、心臓用カテーテルイントロデューサーキット 治験依頼者:東レ株式会社 開発の相:検証的試験 対象疾患:発作的心房細動	当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
[WT4869の骨髄異形成症候群(MDS)患者を対象とした第1/2相臨床試験](第559号) 一般名:- (一般名未定) 治験依頼者:大日本住友製薬株式会社 開発の相:第1/2相 対象疾患:骨髄異形成症候群(MDS)	当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
[大動脈弁狭窄患者を対象とした経カテーテル生体弁の臨床試験](第520号) 一般名:未定 治験依頼者:エドワーズライフサイエンス株式会社 開発の相:- 対象疾患:弁尖の硬化変性に起因する症候性の重度大動脈弁狭窄	・当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・当院で発生した重篤な副作用について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・当該治験機器で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
同上	治験分担医師の追加、削除について、迅速審査の結果(2013年1月29日実施:承認)が報告された。

議題	審議結果を含む議論の概要(迅速審査の報告含む)
<p>[大動脈弁狭窄患者を対象とした経カテーテル生体弁(20mm)の臨床試験](第540号)</p> <p>一般名:未定 治験依頼者:エドワーズライフサイエンス株式会社 開発の相:一 対象疾患:弁尖の硬化変性に起因する症候性の重度大動脈弁狭窄</p>	<p>・当該治験機器で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>
<p>同上</p>	<p>治験分担医師の追加、削除について、迅速審査の結果(2013年1月29日実施:承認)が報告された。</p>
<p>[日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼によるBIBW 2992の肺線癌患者を対象とした第Ⅲ相試験](第512号)</p> <p>一般名:未定 治験依頼者:日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:肺腺癌患者</p>	<p>当該治験薬で発生した重篤な副作用報告及び措置報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>
<p>[EMD531444の第I/Ⅱ相臨床試験](第518号)</p> <p>一般名:■ 治験依頼者:メルクセローノ株式会社 開発の相:第Ⅱ相 対象疾患:■</p>	<p>当該治験薬で発生した重篤な副作用報告及び研究報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>
<p>[中外製薬株式会社の依頼によるRo50-8231の第Ⅱ相臨床試験](第521号)</p> <p>一般名:エルロチニブ塩酸塩 治験依頼者:中外製薬株式会社 開発の相:第Ⅱ相 対象疾患:■</p>	<p>当該治験薬で発生した重篤な副作用報告及び定期報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>
<p>[中外製薬株式会社の依頼によるRo50-8231とベバシズマブ併用の第Ⅱ相試験](第536号)</p> <p>一般名:エルロチニブ塩酸塩 治験依頼者:中外製薬株式会社 開発の相:第Ⅱ相 対象疾患:■</p>	<p>当該治験薬で発生した重篤な副作用報告及び定期報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>
<p>[■転移性非小細胞肺癌患者を対象としたBKM120■によるオープンラベル■試験](第541号)</p> <p>一般名:未定 治験依頼者:ノバルティスファーマ株式会社 開発の相:第Ⅱ相 対象疾患:転移性非小細胞肺癌</p>	<p>当該治験薬で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>
<p>[非小細胞肺癌患者を対象としたARQ 197とタルセバの第Ⅲ相プラセボ対照二重盲検比較試験](第542号)</p> <p>一般名:Tivantinib 治験依頼者:協和発酵キリン株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:非小細胞肺癌</p>	<p>当該治験薬で発生した重篤な副作用報告及び研究報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>
<p>[EGFR遺伝子の変異型で進行又は転移性の非小細胞肺癌患者を対象としたARQ197の併用第Ⅱ相臨床試験](第554号)</p> <p>一般名:Tivantinib 治験依頼者:協和発酵キリン株式会社 開発の相:第Ⅱ相 対象疾患:非小細胞肺癌</p>	<p>当該治験薬で発生した重篤な副作用報告及び研究報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>
<p>[1レジメン以上の化学療法歴を有する進行非小細胞肺癌を対象としたPF-00299804とエルロチニブの有効性及び安全性を比較検討する無作為化二重盲検第3相試験](第548号)</p> <p>一般名:dacomitinib (r-INN) 治験依頼者:ファイザー株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:進行非小細胞肺癌</p>	<p>当該治験薬で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>

議題	審議結果を含む議論の概要(迅速審査の報告含む)
同上	治験実施体制等の変更について、迅速審査の結果(2013年1月31日実施:承認)が報告された。
[田辺三菱製薬によるTA-650の難治性川崎病を対象とした第Ⅲ相試験](第549号) 一般名:TA-650 治験依頼者:田辺三菱製薬株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:難治性川崎病	<ul style="list-style-type: none"> ・当該治験薬で発生した重篤な副作用報告、研究報告及び措置報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・治験期間が1年を越えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 <p>審議結果:承認</p>
同上	治験実施体制等の変更について、迅速審査の結果(2013年1月25日実施:承認)が報告された。
[薬剤溶出ステント(TCD-10023)の多施設共同比較試験(第Ⅲ相臨床試験)](第550号) 一般名:冠動脈ステント 治験依頼者:テルモ株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:冠動脈に形成された狭窄性病変による虚血性心疾患	<p>当該治験機器で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>
同上	治験分担医師の追加、削除、職名変更について、迅速審査の結果(2013年1月22日実施:承認)が報告された。
[デュピュイトラン拘縮患者を対象としたAK160の第Ⅲ相試験](第553号) 一般名:AK160 治験依頼者:旭化成ファーマ株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:デュピュイトラン拘縮患者	<p>当該治験薬で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>
[JNJ-212082(Abiraterone Acetate)の化学療法未治療の転移性去勢抵抗性前立腺癌患者を対象とした臨床第Ⅱ相試験](第555号) 一般名:アビラテロン酢酸エステル 治験依頼者:ヤンセンファーマ株式会社 開発の相:第Ⅱ相 対象疾患:去勢抵抗性前立腺癌	<ul style="list-style-type: none"> ・当該治験薬で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・症例報告書の見本の変更について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 <p>審議結果:承認</p>
[JNJ-212082(Abiraterone Acetate)のドセタキセルを含む化学療法既治療の転移性去勢抵抗性前立腺癌患者を対象とした臨床第Ⅱ相試験](第556号) 一般名:アビラテロン酢酸エステル 治験依頼者:ヤンセンファーマ株式会社 開発の相:第Ⅱ相 対象疾患:去勢抵抗性前立腺癌	<ul style="list-style-type: none"> ・当該治験薬で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・症例報告書の見本の変更について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 <p>審議結果:承認</p>
[武田バイオ開発センター株式会社の依頼による非小細胞肺癌患者を対象としたAMG 706のアジア共同第3相臨床試験](第557号) 一般名:Motesanib 治験依頼者:武田バイオ開発センター株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:非小細胞肺癌	<ul style="list-style-type: none"> ・当該治験薬に関係する定期報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施計画書、治験実施体制等の変更について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 <p>審議結果:承認</p>
同上	治験薬再割付けに関する報告を確認した。
[中外製薬株式会社の依頼による肺癌患者を対象としたPRO143966の第Ⅲ相試験](第560号) 一般名:PRO143966(MetMAb) 治験依頼者:中外製薬株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:非小細胞肺癌	<ul style="list-style-type: none"> ・当該治験薬で発生した重篤な副作用報告及び定期報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・治験薬概要書等の変更について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 <p>審議結果:承認</p>

議題	審議結果を含む議論の概要(迅速審査の報告含む)
[FPF300の第Ⅰ／Ⅱ相試験](第562号) 一般名:サリドマイド 治験依頼者:藤本製薬株式会社 開発の相:第Ⅰ／Ⅱ相 対象疾患:■	当該治験薬に関する定期報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
[未治療のCD20陽性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)患者を対象としたRO5072759(RG7159)の第Ⅲ相臨床試験](第563号) 一般名:未定 治験依頼者:中外製薬株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:未治療のCD20陽性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)患者	当該治験薬で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
同上	治験実施体制等の変更について、迅速審査の結果(2013年1月31日実施:承認)が報告された。
[日本イーライリリー株式会社による肺癌を対象としたペトレキシセドの製造販売後臨床試験](第564号) 一般名:ペトレキシセド 治験依頼者:日本イーライリリー株式会社 開発の相:第Ⅳ相(プロトコールデザインは第Ⅱ相です。日本以外はⅡ相扱いとなります。) 対象疾患:非小細胞肺癌	当該治験薬で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
[大塚製薬株式会社の依頼による第Ⅰ相試験](第565号) 一般名:OCV-501 治験依頼者:大塚製薬株式会社 開発の相:第Ⅰ相試験 対象疾患:■	当該治験薬に関する定期報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
[■を対象としたCH5424802の第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験](第544号) 一般名:未定 治験依頼者:中外製薬株式会社 開発の相:第Ⅰ/Ⅱ相 対象疾患:■	治験実施計画書、説明・同意文書等の変更について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
[S-888711の第2相臨床試験](第561号) 一般名:なし 治験依頼者:塩野義製薬株式会社 開発の相:第Ⅱ相 対象疾患:■	治験実施計画書の変更、契約期間の延長について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
[厚生省DIC診断基準により汎発性血管内凝固症候群(DIC)と診断された患者を対象としたKW-3357の一般臨床試験](第551号) 一般名:未定 治験依頼者:協和発酵キリン株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:厚生省DIC診断基準により汎発性血管内凝固症候群(DIC)と診断された患者	治験期間が1年を越えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 審議結果:承認
[非小細胞肺癌完全切除後Ⅱ-Ⅲ期のEGFR変異陽性例に対するシスプラチン+ビンレルビン併用療法を対照としたゲフィチニブの術後補助化学療法のランダム化比較第Ⅲ相試験(多施設共同医師主導治験)](第545号) 一般名:ゲフィチニブ 成分記号:ZD1839 自ら治験を実施する者:呼吸器内科 吉岡 弘鎮 開発の相:第Ⅲ相試験 対象疾患:完全切除された病理病期Ⅱ-Ⅲ期のEGFR変異陽性の非小細胞肺癌	モニタリング実施の結果報告があり、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
同上	治験実施体制の誤記修正について、迅速審査の結果(2013年1月28日実施:承認)が報告された。